



# すべて喜び すべておたすけ 北海道教区



第592号

発行所

天理教北海道教務支庁  
札幌市中央区南8条西11丁目  
電話 011 (561) 1148  
FAX 011 (561) 1190  
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com  
ホームページ  
<https://tenrikyohk.com>

## 喜びおたすけの集い

9月1日、2日の両日、教務支庁に於いて「喜びおたすけの集い」を開催、107名(ひのきしん者少年会員含)が参加した。

「すべて喜び すべておたすけ 北海道教区」をスローガンに教祖140年祭活動を推進する中、この「集い」は、教区・支部活動の先達となる支部長夫妻、婦人会支部主任、教区主事、及び役員を対象に、

- ・地域活動の活性化を祈願する
- ・次世代の育成を意識する
- ・お互いの支部活動の勇みとなる情報交換をする

・教区祭の意義を確認しあう  
の4項目の趣旨に沿ってプログラムが組まれた。



午後2時より地域活動の活性化を祈願し「喜びおたすけのおつとめ」(座りづとめ)を執り行い集いを開会。



座りづとめ

奥村教区長が登壇し、教区制度の発祥と意義、またご自身の理歴について映像と共に説明。さらには慰霊祭を執り行う事の重要性などについて、企業の例を挙げ、自身が現地に赴き感じた様子も披露し、改めての再確認を促し、今後の活動における思いを披歴した。



奥村教区長

続いて各会を代表し、4名の弁士が登壇。人材育成に向けての取組や自らの失敗から学んだ教訓、また先人さながらの教会生活を歩み苦悩を重ねる日々、だんだんとお見せ頂く、確



少年会 宮川直人氏



婦人会 千葉祐子氏



学生担当委員会 上村友哉氏



青年会 岡田莖貴氏

かな教祖の後押しを実感した体験など代表者の熱弁に会場は笑顔と感激に包まれ万雷の拍手が送られた。

この後、出席者一同により、ねりあいの時間が持たれた。



ねりあいの様子

(2Pへ続く)

北海道教区のホームページ <<https://tenrikyohk.com>> で教区報がご覧頂けます





支部長会議

翌日は、「一手一つお願いづ  
とめ」の後、支部長会議に続い  
て、10月からの「ようぼく一斉  
活動日」について情報交換とね  
ろあいが行われた。



喜びおたすけのゆうべ

(1P 続き)  
夕刻、功労者合祀祭・慰霊祭  
が執り行われ、続いて「喜びお  
たすけのゆうべ」と銘打ち懇親  
会が設けられた。



講話でにっこり笑顔に



葛西あゆみ講師

同日、葛西あゆみ・津軽大教  
会長夫人による「おたすけ講話」  
を支部長夫人・婦人会支部主任  
が拝聴。旬の声を素直に聞かせ  
ていただく大切さをユーモラス  
にお話頂き、笑顔が溢れた。



情報交換とねろあいを



宗谷婦人会主任



渡島支部長

その後、全員で「よろづよ八  
首」を勤め、宮野養一・渡島支  
部長と泉美幸・宗谷支部婦人会  
主任が「喜び宣言」に登壇。「集  
い」を契機に、教区・支部活動  
の一層の活性化を誓うとともに  
、「集い」に参加した感想と  
喜びを語った。



よろづよ八首



合祀慰霊祭

9月1日の喜びおたすけの集  
い後に教区功労者の合祀慰霊祭  
がとめられ、元主事・空知支  
部長の寺口定雄様、元余市支部  
部長の大竹一也様、元札幌白豊支  
部長の若松久義様の御霊を合祀  
させていただいた。

教区功労者合祀慰霊祭



閉会あいさつ

全プログラムを終え、高橋太  
志・総務部長による閉会のあい  
さつがあり、参加者は会場を後  
にした。

次回やまびこ会は10月10日の  
13時30分からです。(代表藤野充普

後)は拍手まで頂いた。  
のテーマで全教一斉にをいが  
けデーに向け、教会長さん方が  
勇んで、自身の路傍講演の原稿  
を読みあげ、信仰していること  
に自信と誇りをもって喜びを  
お伝えして頂ければと2人一  
組となり、おしゃべりからだん  
だんと原稿が書き上がる不思  
議なプログラムによる、わかり  
やすい教話原稿が出来上がっ  
た。早速、大通公園にて、その  
原稿で路傍講演をしたところ、  
聞いていた通行人の方から最  
後は拍手まで頂いた。



オータムフェストで賑わう  
大通公園にて

定例にをいがけ  
布教を志す者の会「やまびこ  
会」では、8月26日と9月19日  
に定例の布教活動を行った。  
8月は、35℃の猛暑日となっ  
た札幌市内で3名が参加し、円  
山方面で戸別訪問をした。9月  
は、3分の教話原稿を作ろうと



### 天理教学を学ぶ会

天理教学を学ぶ会（荒川善孝代表）では、8月28日、教務支庁において、第5回公開講座を開催し、37名が受講した。

講師は、天理大学人間学部宗教学科教授の岡田正彦先生（富良野分教会教人）で、『明治22年11月7日 刻限御話』のおさしづから、ひながたを学ぶをテーマに2時間ご講演を頂き、次いで30分余り、質疑応答が行われた。



本講座は、天理教学の成果と、日々の信仰実践を架橋する試みとして発足し、岡田先生には第3回目が続いて、二度目のご出講をお願いした。今回は論

達第4号に原典として唯一引用されている「明治22年11月7日 刻限御話」のおさしづ全文を、東京における教会本部開設と奈良県への移転、別席制度の確立と教祖五年祭に至る本教の歩みを、明治政府の宗教政策をからめて歴史的背景事情を踏まえた上で、詳細にご解説頂いた。

### 災救隊 平時訓練

災救隊（三幣敦志隊長）は、8月28日、29日に三笠市において平時訓練を実施した。

教区隊では、有事の際の連携強化を主に、道内を独自の6ブロックに分けており、今回は、道中ブロック（南空知、空知、天龍、旭川、上川、富良野）を対象とした訓練を実施し、延べ101名が参加した。（隊員・婦人会49名、一般ボランティア・社協20名）

三笠市社会福祉協議会（社協）と管内教会や南空知支部隊の冬季訓練や除草ひのきしんを通しての長年の繋がりが、同協議会より宿営地の老人福祉センターと市内6か所の訓練地をご提供いただいた。

また三笠市社協より、一般ボランティアの方々とも災害ボラ

ンティアセンターの立ち上げ、設置、運営訓練をしたいとの意向があり、合同で受入れ訓練を行った。「経験豊富な災救隊の方々と一緒にさせて頂き、よい経験となりました。」と一般ボランティア参加者が語られました。

その他、刈払い機や手作業での除草作業、車イスの掃除や施設内でのイス掃除など多岐にわたる作業を行った。

災害発生時は、全国的に社協が窓口となり、ボランティア活動が行われる事が多く、今後も社協との連携がさらに必要であると感ずる訓練となった。解散式では、教区隊が市社協へ寄付をした御礼として礼状をいただき、後日、北海道新聞空知版にも掲載いただいた。



一般ボランティアの方々と合同で受入れ訓練

### 道の学生ひのきしんデー

学生会では、9月17日、18日に教務支庁にて、道の学生ひのきしんデーを開催し、学生20名が参加しました。

これはお道に繋がる全国各地の学生が教区、直属などで一斉に、各地域でひのきしんをさせて頂く行事であり、その中の一つとして、教区学生会は、1泊2日の「北海道教区ひのきしんデー&秋のお泊まり会」を実施致しました。



周辺のゴミ拾いを

開会式後には、庁舎内の窓掃除や周辺のゴミ拾いと、様々なひのきしんを行いました。その後、神殿にておつとめ練習を行い、夕食のカレーライスを食べた後、親睦会で交流を深めました。

翌日は、中島公園で様々なゲームで楽しみ、たくさん動き、その後はBBQで、笑顔溢れる昼食となりました。



前日まで天気が心配されましたが、外でのプログラムが実施できるほど天気が良好で、それぞれ喜び勇んで通らせて頂くことが出来ました。

学生の勇んだ姿に胸が熱くなり、共につなぎ、共に伝えあうことを意識しながら、学生と共に育つことができればと改めて感じさせて頂きました。

教祖140年祭に向けて、学生会を盛り上げる為に、なにか一つでも力になればと思います、これからも助け合いながら、一手一つに歩んでいきたいと思っております。皆様のご協力の程、宜しくお願い致します。（学担久米田）



各地の動き

●支部教学セミナー開催

余市支部（新井田建治支部長）は、8月29日、積丹分教会を会場に第7回セミナーを開催した。

年祭活動の最中にあり、教祖ひながたをさらに身近に感じ、学ばせていただくという講師に天理大学人間学部宗教学科教授の岡田正彦先生を招いて、天理時報に連載された「ひながたの風景をたずねて」を執筆、取材の際の、数々のエピソードを直に聞かせていただいた。

時間の都合で全てお聞きすることはできなかつたが、どのお話もとても興味深く、まるで私たちをその場に連れて行ってくれるようだった。参加者40名（支部関係者32名、他支部8名）



●北見支部青年会

支部青年会は、8月27日に『ワイワイゴミ拾い&焼肉親睦会』を開催しました。

普段仕事などで参加できない教友や青年会員が集いやすくなるよう、交流と親睦を深めるため企画し、24名（内、少年会員7名）が参加しました。



青年会では不定期で行なっていた、ゴミ拾い活動をコロナ禍の影響から、ほぼ活動停止おりましたが、約4年ぶりに再開して2回目のゴミ拾いになりました。また同時に焼き肉も計画して普段来られない教友の方や新しい青年会員さんの参加に重点をおき、今回、計画させてもらいました。

記録的な猛暑続きな北見地方

でしたが、当日は幾分暑さも和らいでおり、市内公園のゴミ拾いをしました。

その後、場所を移動して支部内の鴻慈分教会の敷地をお借りして焼き肉を行いました。

婦人会や青年会OBの方々の準備など、皆さんのご協力を頂き、賑やかで楽しい焼き肉親睦会となりました。

（支部委員長奥山英典）

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日



8月29日は、ゴミ拾い、布団整理、部屋掃除を18名が参加して実施し、9月23日は、2階の窓のサッシ、窓レールと神殿畳の掃除、庁舎周辺ゴミ拾いを20名が参加下さいました。

※10月は、ふせこみひのきしんの日程が変更となります。

10月22日に変更



《しらゆき会新委員長紹介》

教区女子青年・しらゆき会委員長に小川莉穂さんが任命されました。



小川莉穂 (嶽東・興部)

北海道教務支庁日誌抄

- 9月1日 喜びおたすけの集い
教区功労者合祀祭・慰霊祭
一手一つお願いづとめ
支部長会議
札幌中南支部例会
会計部会議
網走大よろこびセミナー
学生会道の学生ひのきしんデー
教区報編集会議
やまびこ会
教務支庁ふせこみひのきしん
おうた練習
教区長婦本
教区長会議
本部月次祭選擇式
運営委員会
主事会
本部秋季霊祭
教区長婦本
全教一斉にをいがけデー
（～30日）
青年会濃 Meeti
たすけ推進会議

—— けいじばん ——

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選擇式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載していきます。また記事の投稿もよろしくお願ひ致します。

計報

立教一八六年・令和5年

菅井 妙子 様 8月22日出直（95歳）
名真実分教会前会長夫人（南空知支部）

第11回よろこぼく保護司研修会

北海道ブロック大会

- 日時 令和5年11月28日12時～29日12時解散
会場 教務支庁大会議室
記念講演 講師 久松真一氏
主催 天理教保護司連盟
参加御供 二千元
担当委員 本田和夫(宮内町分教会)
Tel 090-8639-4218

【主な作品】NHKBS「生きてふたたび保護司・深谷善輔」
映画「64 ロクヨン」日本アカデミー優秀脚本賞 優秀作品賞